

第1回全国通訳案内士団体ネットワーク会議要録

◆日時：2010年7月26日 10:00～12:50

◆場所：ちよだプラットフォームスクウェア(千代田区神田錦町3-21)

◆出席者：11団体 18名（以下詳細、敬称略）

JFG(協同組合全日本通訳案内士連盟)山田澄子、松本美江、原田智子

GICCS (NPO 通訳ガイド&コミュニケーション・スキル研究会) ランデル洋子、松岡明子

IJCEE (NPO 日本文化体験交流塾) 米原亮三、菊地くに子、山田貴子 (記)

JGC (NPO 日本通訳案内士連合) 岡村寛三郎

CGO (中国語通訳案内士会) 水谷浩

KGO (全日本韓国語通訳案内士会) 高田直志

TOTAK (栃木県通訳案内士協会) 増田剛

FYGIA (富士の国やまなし通訳案内士会) 赤松輝美、松井由美子

JCC (日本文化と歴史探訪) 橋本充秀

JAIG (日本通訳案内士研鑽会) 小川富二、丹野匡章

KIGA (一般社団法人関西通訳・ガイド協会) 牧野正紀

欠席者：

KILGA (九州通訳・ガイド協会)

OIGA (沖縄通訳案内士会)

◆議事の概要

当面の議事進行について、米原亮三を議長として、選出

1. 「全国通訳案内士団体協議会」設立について

①発起団体からの報告

JFG 山田澄子氏より、発起人団体の一つである JGA から会議 2 日前の 7 月 24 日、当初予定された「全国通訳案内士団体協議会」に参加しないと連絡されたことを報告。

こうした新しい状況を踏まえ、通訳案内士団体会員数が最多である JGA が不参加のままの状況で、「全国通訳案内士団体協議会」を設立すべきかどうか、よりゆるやかな形、例えばメールボックスの共有程度でも良いのではないかという問題が提起された。

GICCS のランデル洋子氏からも同様の意見が出された。

②各団体の意見 (順不同)

JGC ガイドの利益を守る志のある人が人数に関わりなく結束していくべきである。

CGO 今回集まった団体の人数合計では JGA より多い。民間外交官としての我々の立場

を示すための絶好の機会ともとらえ、会を至急立ち上げるべきである。

KGO JGAに準会員、賛助会員としてもらうことはできないか

TOTAK JGAが不参加となり当初考えていた状況と異なるが、会の発足には賛成である。

FYGLA JGAがいつでも参加できるような形を保ちつつ協議会を発足したほうがよい。

JCC ガイドの考えていることを代弁できるような協議会を作るべきである。役員を選出方法については、会長が全役員を指名する形でなく、みんなが意見を言える形がよい。

JAIG 組織を作り、一步を踏み出すべきである。

KIGA 12団体が集まった意義を認識し、会を発足すべきである。

③議決

発起人団体

参加された団体の総意を受け、何らかの形で会の発足については異議はない。どのような形にするかについては、引き続き検討するとした。

議長

- ・本日の段階では、国への望書をまとめるところまでいかない。
- ・本日提案された規程案の第2条のとおり、目的を確認しては、どうか。
- ・第2条 全国の通訳案内士団体が相互に情報交換を行うとともに、通訳案内士としての職業の維持・向上・発展のために連携し、活動することを目的とする。
- ・今後、全国の参加団体の意見をまとめていく方法としては、JFG、GICCSの2大団体を中心となって案のたたき台を作成して、参加全団体が電磁的方法で確認、協議していく方法がよいのではないか。

(休憩後、再開)

2. 新たに発足する会の方向性、骨格

① 議長より、発起人の意見として、新しい会の骨格に関する提案

- ・協議会という名称をやめ、相互の連絡を重視した組織とする
名称は、ネットワークという言葉を入れる
- ・会長や事務局長を設置せず、世話人会を置く。
- ・世話人を出す組織としては、以下の点を考慮すべき
 - 一定の規模があること
 - 実務協議を進められるよう、4団体を規模とする
 - 東京に拠点があり、打合せがしやすい団体
 - 現在、問題になっているスルーガイド等アジアのインバウンドに精通していること
- ・以上の点から、JFG、GICCS、IJCEE、CGOとする

②意見交換

GICCS 新組織が力を持つには、JGA の入会が望ましい。したがって、当面、新組織は、連携を重視したネットワーク型の組織が望ましい。また、世話人会に CGO を望むとする議長提案に賛成する。

KIGA 連絡のスムーズさ、情報の迅速な伝達の点から、世話人が東京に拠点を置いていることに賛成する。

CGO 「世話人」になることにつき、8月の内部会議で協議する必要あり。

JGC/JCC 世話人団体は人数から決められるべきでなく、ガイド全体の問題に真剣に取り組み、かつ政府や社会に影響力を発揮できる人材を選出すべき。

JAIG 世話人を選ぶに当たっては、公平で、みんなの意見が平等に取り入れられるべき。

FYGIA 発起人の意見に賛成。法改正の反対運動だけでなく、各地域の通訳案内士団体の情報交換や連携の支援が必要。

JFG

- ・メーリングリストを活用し、参加団体が話合うので公平性は保たれる。
- ・世話人は事務的、実務的なことをするまとめ役である。
- ・発起人の任期は1年とする。
- ・官公庁訪問などの都合上、世話人は、形になるまでは発起人が担当する方がうまくいくと思う。それが責任でもあると考える。
- ・「全国通訳案内士ネットワーク」という団体名称には、参加団体名を全て付記することになる。

③以下の案を議決により承認した(賛成 10 団体)

【新たに発足する会の性格】

名称：「全国通訳案内士ネットワーク」へ

組織：会長、事務局長を設置せず、「世話人」を設置

世話人：発起 3 団体+CGO（承諾については持ち帰り内部検討）

会費：5 千円（所属通訳案内士数 100 人以下の団体）、1 万円（100 人以上の団体）

その他：通常、団体内の意見交換はメーリングリストを活用して行う。

④今後、規程等を世話人会で協議していく。

以 上